

鈴木 木 萌 加
議会を見学して、多くのことを学ぶことができました。これからもよりよい白河のためにがんばってください。

大竹 俊 輝
話し合いでは、難しい言葉がたくさん使われていました。ぼくには、少し難しかったです。

玉木 愛 望
議会では、白河市をもっとよりよくするために真剣に話し合っていることに感謝したいと感じました。

岡部 頌 吾
議会での発言の様子を見学して、ぼくも説得力のある人間になりたいと思いました。

八木 綾 稀
見学させていただき、ありがとうございます。ぼくも未来の白河を考えるようになりました。

緑川 椿 花
白河市物産館等の議案があり、私も未来の白河について

もつと考えていきたいと思いました。

小山 右 京
議会を見学させていただきました。ありがとうございます。議会では、消費税の話が印象に残りました。

緑川 祥 大
市長さんはじめ、議会のみなさんが、白河のために本気で話し合っていて、すごいと思いました。

柳 沼 奈津希
社会で学んだ、消費税のことが話し合われていました。みんなが幸せな白河をつくりたいです。

稲川 堯 純
議会が白河のために大切なことだと感じました。これからも白河市民のための市政をよろしく願います。

小林 麻菜未
議員さんからの議案も、市長さんたちの答弁も真剣そのものでした。貴重な体験ができました。

杉本 愛 利
議員さんの市民を第一に考えた、心温まる意見に感激しました。私も関辺小のためにがんばります。

白石 真 琴
白河市をよりよくしようと真剣に話し合っていました。見学させていただきました。ありがとうございました。

穂積 遼
議会を見学させていただきました。ぼくも白河市をもっとよりよくしたいと強く思いました。

角田 萌 夏
『ふだんの生活』ができているのは、議会での本気の話し合いがあるからだと感じました。議会での話し合いの様子を下学年のみんなにも伝えて、『よりよい白河』について、もつと意識して生活していきたいです。

平成25年（平成24年度決算） 決算審査特別委員会報告

一般会計及び特別会計の

歳出合計535億7954万9505円について審査を行いました。



平成25年決算審査特別委員会は、12名の委員により構成され、去る10月21、22、23及び25日の4日間にわたり開催され、一般会計の決算では歳入404億6477万4971円、歳出375億9932万4427円、歳入歳出差引額から翌年度に繰り出すべき財源を控除した実質収支額21億5135万8000円の黒字決算となった内容や、国民健康保険特別会計を初めとする各特別会計を含めた歳入合計574億3054万8194円、歳出合計535億7954万9505円の決算内容について慎重な審査を行いました。

最終日の25日に総括質疑が行われましたので、概要についてご報告します。

平成24年度 白河市一般会計及び特別会計決算概要

(単位：千円)

決算審査特別委員会

- 委員長 佐川 京子
- 副委員長 緑川 摂生
- 委員 深谷 博歩
- 委員 佐久間 進
- 委員 柴原 隆夫
- 委員 水野谷正則
- 委員 藤田 文夫
- 委員 縄田 角郎
- 委員 大竹 功一
- 委員 穂積 栄治
- 委員 戸倉 耕一
- 委員 深谷 弘

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額	繰越明許費繰越金等	実質収支額	
一般会計	40,464,775	37,599,324	2,865,451	714,093	2,151,358	
特別会計	国有林野受払費	183	183	0	0	0
	教育財産	2,156	2,156	0	0	0
	小田川財産区	16,269	16,269	0	0	0
	大屋財産区	3,093	3,093	0	0	0
	樋ヶ沢財産区	194	194	0	0	0
	土地造成事業	29,879	26,508	3,371	0	3,371
	国民健康保険	7,404,989	6,660,322	744,667	0	744,667
	後期高齢者医療	503,906	499,032	4,874	0	4,874
	介護保険	4,528,839	4,400,185	128,654	0	128,654
	地方卸売市場	23,042	23,042	0	0	0
	公共下水道事業	2,406,941	2,359,156	47,785	47,785	0
	農業集落排水事業	1,548,093	1,534,172	13,921	13,921	0
	個別排水処理事業	85,597	85,597	0	0	0
	簡易水道事業	412,593	370,316	42,277	5,000	37,277
小計	16,965,774	15,980,225	985,549	66,706	918,843	
合計	57,430,549	53,579,549	3,851,000	780,799	3,070,201	

(注) 本表中の数値は、単位未満を四捨五入により表示しているため、積み上げ計算額が一致しない場合がある。

問 介護保険事業計画と平成24年度達成・実績について

答 高齢者人口は、計画値1万4817人に対し、実績値1万4856人、高齢化率は、計画値23・2%に対し23・3%、要支援・要介護者認定者数は、計画値2588人に対し、2700人となっており、高齢者人口や高齢化率の実績値は、ほぼ計画値で推移したが、要支援・要介護認定者数は、計画値より約4%増加した。



問 秘書一般管理費の旅費の視察に係る報告について

答 市民に対しては、市長自ら、見て、聞いて感じたことを各種の会合などで報告している。

問 健全な財政運営の推進の目標のもと、これを実現するために、平成24年度において、取納率向上3カ年計画を策定し、コンビニ納付の納入を実施した。また、滞納を繰り越さないための措置として、現年分において納期内に納付ができなかった場合には、納税相談を積極的に行い、どうしても応じない場合には、差し押さえを実施している。さらに、滞納繰越分については、さら

問 市税の収納率アップについて

答 健全な財政運営の推進の目標のもと、これを実現するために、平成24年度において、取納率向上3カ年計画を策定し、コンビニ納付の納入を実施した。また、滞納を繰り越さないための措置として、現年分において納期内に納付ができなかった場合には、納税相談を積極的に行い、どうしても応じない場合には、差し押さえを実施している。さらに、滞納繰越分については、さら

問 収支状況及び実質公債費比率等の推移について

答 財政健全化の主な要因として、歳入面では、迅速な情報の収集等により、国や県の補助金を最大限に活用することによって、財源の確保が図れたこと、歳出面では、定員管理の適正化による人件費の削減や事務事業の見直し、さらには、利率の高い市債や債務負担行為の積極的な繰り上げ償還などを実施し、公債費の圧縮ができたことが考えられる。また、今後の財政状況を考慮して、将来に備えて財政調整基金や減債基金への積極的な積み増しも行ってきた。

反対、賛成それぞれの立場からの討論があり、起立による採決を行った結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決しました。



を徹底して行い、納税資力に応じた滞納処分を早期に実施し、納税の公平性を図ってきた。24年度の収納率向上については、震災からの復興に伴う景気回復基調が大きな要因と思われる、この収納率向上計画に基づいた取り組みが強化された。